
PrintWalker/LXE 説明書(操作編)

V16L80 用

まえがき

本書の目的

『PrintWalker/LXE』は、『Linux』から、LAN (TCP/IP) に接続されたシステムプリンタ (PS5000 シリーズおよびVSPシリーズ) に印刷を行うソフトウェア製品です。

本書は、lpコマンドと本製品が提供するコマンドについて説明しています。

本書の読者

このマニュアルは、本製品を導入する方および本製品を使用される方を対象にしています。

表記上の約束

このマニュアルは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用します。

字体または記号	意味
ABCabc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータの出力例を表します。
ABCabc123 (太字)	ユーザが入力する文字を表します。
<i>ABCabc123</i> (斜体)	変数を表します。実際に使用する時には、特定の名前または値で置き換えます。
¥	枠で囲まれたコード例で、文字列がページ行幅を超える場合に、継続を示します。
\$ command	一般ユーザでのコマンド入力を表します。
# command	スーパー・ユーザでのコマンド入力を表します。

本書では、オペレーティングシステムを略称で表記している箇所があります。

製品名称	略称
Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)	RHEL6(x86)
Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)	RHEL6(Intel64)
Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)	RHEL7(Intel64)
Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)	RHEL8(Intel64)
Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64)	RHEL9(Intel64)

※略称表記の際、アーキテクチャーに依存しない場合はアーキテクチャーの表記（括弧内）を省略することがあります。

Solarisの場合

製品名称	略称
Solaris™ 8 Operating System	Solaris 8 OS または Solaris 8
Solaris™ 9 Operating System	Solaris 9 OS または Solaris 9
Oracle Solaris 10	Solaris 10 OS または Solaris 10
Oracle Solaris 11	Solaris 11 OS または Solaris 11

本書では、“Linuxサーバ”を“ホスト”と表記している箇所があります。

本書では、“Oracle Solaris”、“Solaris™ Operating System”を“Solaris OS”または“Solaris”と表記することがあります。

本書では、“VSPシリーズ”や“VSPプリンタ”と表記している箇所がありますが、特にことわりがない限り、マルチプラットフォームプリンタ（PS5000シリーズ）も含みます。

本書の構成

このマニュアルは、以下の構成になっています。

第1部 はじめに

第1章 lpコマンドと本製品

lpコマンドと本製品の関係について説明します。

第2部 lpコマンド

第2章 lpコマンド

lpコマンドのオプションについて説明します。

第3章 lp関連コマンド

lpstatコマンドなどのlp関連コマンドについて説明します。

第4章 lprコマンド

lprコマンドとその関連コマンドについて説明します。

第3部 当製品提供コマンド

第5章 資源管理コマンド

当製品の提供する資源管理コマンドの使用方法について説明します。

第6章 印刷操作コマンド

当製品の提供する印刷操作コマンドの使用方法について説明します。

付 録

付録A 『PrintWalker/BPC』との比較

『PrintWalker/BPC』と本製品とのlpオプションの違いについて説明します。

登録商標について

Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Red Hat、RPMおよびRed Hatをベースとしたすべての商標とロゴは、Red Hat, Inc. の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Common UNIX Printing System、CUPSおよびCUPSロゴは、Apple Inc. の登録商標です。

UNIXは、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本書に記載の会社名、商品名等は各社の商標、または登録商標である場合があります。以降、本書では、®、™ を略記しています。

2023年 3月 初 版

告知文

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開発・設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。

お客様は本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途に使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても富士通株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

お 願 い

- 本書を無断で他に転載しないようお願いします。
- 本書は予告なしに変更されることがあります。

Copyright FUJITSU LIMITED 2004-2023

目次

第1部 はじめに.....	1
第1章 lpコマンドと本製品	2
1.1 lpコマンドと本製品の関係.....	3
第2部 lpコマンド.....	4
第2章 lpコマンド.....	5
2.1 lpコマンド.....	6
2.1.1 lpコマンド指定形式	6
2.1.2 lpコマンドオプション	7
2.2 lpコマンドオプション詳細.....	13
2.2.1 -E (暗号化)	13
2.2.2 -c (スプール複写指定)	13
2.2.3 -d destination (印刷先プリンタ指定)	13
2.2.4 -h server (印刷先プリントサーバ指定)	13
2.2.5 -m (印刷完了mail通知)	13
2.2.6 -n num-copies (部数指定)	13
2.2.7 -q priority (印刷優先順位)	13
2.2.8 -s (lp からのメッセージ出力抑止)	14
2.2.9 -t title (タイトル指定)	14
2.2.10 -H handling (保留/保留解除/優先印刷)	14
2.2.11 -P page-list (ページ指定)	14
2.2.12 -i job-id (印刷要求指定)	14
2.3 拡張lpコマンドオプション詳細.....	15
2.3.1 基本オプション	15
2.3.2 oモードリスト	16
2.3.3 yモードリスト	18
第3章 lp関連コマンド.....	31
3.1 lpstatコマンド.....	32
3.1.1 lpstatコマンド指定形式.....	32
3.1.2 lpstatコマンドオプション	32
3.1.3 lpstatコマンド注意事項.....	35
3.2 cancelコマンド.....	36
3.2.1 cancelコマンド指定形式.....	36
3.2.2 cancelコマンドオプション	36
3.3 lpoptionsコマンド.....	37
3.3.1 lpoptionsコマンド指定形式.....	37
3.3.2 lpoptionsコマンドオプション	37
第4章 lprコマンド	39
4.1 lprコマンド.....	40
4.1.1 lprコマンド指定形式.....	40
4.1.2 lprコマンドオプション	40
4.1.3 lprコマンド注意事項.....	41

4.2 <i>lpq</i> コマンド.....	42
4.2.1 <i>lpq</i> コマンド指定形式	42
4.2.2 <i>lpq</i> コマンドオプション	42
4.2.3 <i>lpq</i> コマンド注意事項	42
4.3 <i>lprm</i> コマンド.....	43
4.3.1 <i>lprm</i> コマンド指定形式.....	43
4.3.2 <i>lprm</i> コマンドオプション	43
4.3.3 <i>lprm</i> コマンド注意事項.....	43
第3部 当製品提供コマンド.....	44
第5章 資源管理コマンド.....	45
5.1 <i>stupttf</i> (TrueType フォントプレロード) コマンド.....	46
5.1.1 <i>stupttf</i> コマンドの使用法	46
第6章 印刷操作コマンド.....	49
6.1 <i>lpadvan</i> (用紙掛け替え／試し打ち応答／課金) コマンド.....	50
6.1.1 <i>lpadvan</i> コマンドの使用法	50
6.2 <i>bsnpsrestart</i> (リトライ待機解除) コマンド.....	52
6.2.1 <i>bsnpsrestart</i> コマンドの使用法	52
6.3 <i>read_nfpag</i> e (印刷完了ページ通知) コマンド.....	54
6.3.1 <i>read_nfpag</i> e コマンドの使用法	54
6.4 <i>lpstatlxe</i> (印刷状態表示) コマンド.....	55
6.4.1 <i>lpstatlxe</i> コマンドの使用法	55
6.4.2 <i>lpstatlxe</i> コマンド注意事項.....	57
付録A 『PrintWalker/BPC』との比較.....	58
A.1 <i>lp</i> オプション比較.....	59
A.1.1 FNP エミュレーション	59
A.1.2 66XX エミュレーション	61
A.2 <i>lpr</i> オプション比較.....	63
A.2.1 FNP エミュレーション	63
A.2.2 66XX エミュレーション	63

第1部 はじめに

第1章 lpコマンドと本製品

本章では、lpコマンドと本製品の関係について説明します。
本章の構成は、以下のとおりです。

1.1 lpコマンドと本製品の関係

1.1 lpコマンドと本製品の関係

本製品は、図1.1の経路で起動され、印刷／印刷状態確認／印刷操作処理を行います。

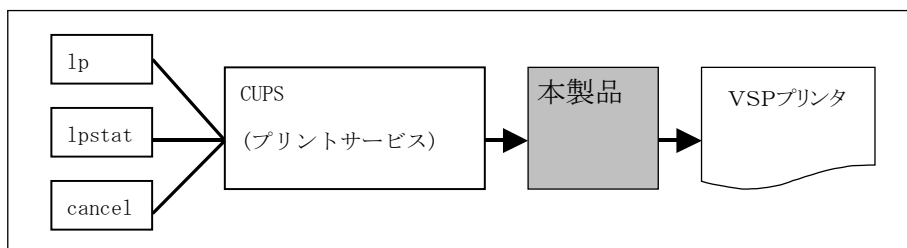


図1.1 lpコマンドと本製品

本製品は、lpコマンドを拡張するためのコマンドを提供しています。

第2部 lpコマンド

第2章 lpコマンド

本章では、lpコマンドのオプションについて説明します。
本章の構成は、以下のとおりです。

- 2.1 lpコマンド
- 2.2 lpコマンドオプション詳細
- 2.3 拡張lpコマンドオプション詳細

2.1 lpコマンド

lpコマンドは、印刷先プリンタに印刷データを送信します。

lpコマンドで指定できる各種オプションを表2.1～表2.11に示します。ただし、印刷データ中に本オプションと同じ機能のデータが存在する場合、本オプションが無効となる場合があります。

また、未サポートオプションを使用して印刷データを出力した場合、無効となるか、または、CUPSプリントサービスよりエラーメッセージが通知されます。

2.1.1 lpコマンド指定形式

lpコマンド指定形式は、下記のとおりです。

lpコマンド形式 I

```
lp [ -E ] [ -c ] [ -d destination ] [ -h server ] [ -m ] [ -n num-copies ]  
[ -o option ] [ -q priority ] [ -s ] [ -t title ] [ -H handling ] [ -P page-list ]  
[ 印刷ファイル名 ... ]
```

lpコマンド形式 II

```
lp [ -E ] [ -c ] [ -h server ] [ -i job-id ] [ -n num-copies ]  
[ -o option ] [ -q priority ] [ -t title ] [ -P page-list ] [ -H handling ]
```

[-o option] を複数指定する場合は、下記のように指定します。

形式 I

```
-o option1 -o option2 .....
```

形式 II

```
-o "option1 option2 ....."
```

本製品で拡張した [-o option] を複数指定する場合は、下記のように指定します。

形式 I

```
-o -o_option1 -o -o_option2 -o -y_option3 -o -y_option4 .....
```

形式 II

```
-o "-o_option1" -o "-o_option2" -o "-y_option3" -o "-y_option4" .....
```

形式 III

```
-o "-o_option1 -o_option2 -y_option3 -y_option4 ....."
```

2.1.2 lpコマンドオプション

lpコマンドオプションのサポート一覧を表2.1に示します。
機能詳細については、「2.2 lpコマンドオプション詳細」を参照してください。

表2.1 lpコマンドオプション

コマンドオプション	プリンタ装置のプリンタタイプとエミュレーション		
	FNP		66XX
	ページプリンタ		インパクトプリンタ
	単票	連帳	
-E	×	×	×
-c	○	○	○
-d destination	○	○	○
-h server	×	×	×
-m	×	×	×
-n num-copies	○	○	○
-q priority	○	○	○
-s	○	○	○
-t title	○	○	○
-H handling	○	○	○
-P page-list	○	○	○
-i job-id	○	○	○
-o option	○	○	○

○：有効、×：使用不可

標準的な[-o option]のサポート一覧を表2.2～表2.8に示します。

表2.2 General Options

コマンドオプション	プリンタ装置のプリンタタイプとエミュレーション		
	FNP		66XX
	ページプリンタ		インパクトプリンタ
	単票	連帳	
-o media=size, type, and/or source	—	—	—
-o landscape	—	—	—
-o sides=両面印刷方法	—	—	—

—：無視

表2.3 Banner Options

コマンドオプション	プリンタ装置のプリンタタイプとエミュレーション		
	FNP		66XX
	ページプリンタ		インパクトプリンタ
	単票	連帳	
-o job-sheets=バナー形式	—	—	—

—：無視

表2.4 Document Options

コマンドオプション	プリンタ装置のプリンタタイプとエミュレーション		
	FNP		66XX
	ページプリンタ		インパクトプリンタ
	単票	連帳	
-o page-ranges=印刷範囲（注）	×	×	×
-o page-set=奇/偶数頁印刷	—	—	—
-o outputorder=排紙面	—	—	—
-o number-up=Nアップ印刷	—	—	—
-o page-border=Nアップ印刷の境界	—	—	—
-o number-up-layout= Nアップ印刷のレイアウト	—	—	—
-o mirror	—	—	—
-o brightness=明るさ	—	—	—
-o gamma=ガンマ補正（コントラスト）	—	—	—

—：無視、×：使用不可

（注）指定すると、-P（ページ指定）オプションが正しく動作しません。

表2.5 Text Options

コマンドオプション	プリンタ装置のプリンタタイプとエミュレーション		
	FNP		66XX
	ページプリンタ		インパクトプリンタ
	単票	連帳	
-o cpi=文字ピッチ	—	—	—
-o lpi=行ピッチ	—	—	—
-o columns=カラム数	—	—	—
-o page-left=左マージン	—	—	—
-o page-right=右マージン	—	—	—
-o page-top=上マージン	—	—	—
-o page-bottom=下マージン	—	—	—
-o prettyprint	—	—	—

— : 無視

表2.6 Image Options

コマンドオプション	プリンタ装置のプリンタタイプとエミュレーション		
	FNP		66XX
	ページプリンタ		インパクトプリンタ
	単票	連帳	
-o position=配置位置	—	—	—
-o scaling=スケーリング	—	—	—
-o ppi=スケーリング	—	—	—
-o natural-scaling=スケーリング	—	—	—
-o hue=色調	—	—	—
-o saturation=彩度	—	—	—

— : 無視

表2.7 HP-GL/2 Options

コマンドオプション	プリンタ装置のプリンタタイプとエミュレーション		
	FNP		66XX
	ページプリンタ		インパクトプリンタ
	単票	連帳	
-o blackplot	—	—	—
-o fitplot	—	—	—
-o penwidth= <i>value</i>	—	—	—

— : 無視

表2.8 Raw or Unfiltered Output

コマンドオプション	プリンタ装置のプリンタタイプとエミュレーション		
	FNP		66XX
	ページプリンタ		インパクトプリンタ
	単票	連帳	
-o raw	—	—	—

— : 無視

本製品で拡張した[-o option]のサポート一覧を表2.9～表2.11に示します。

表2.9 拡張(基本オプション)

コマンドオプション	プリンタ装置のプリンタタイプとエミュレーション		
	FNP		66XX
	ページプリンタ		インパクトプリンタ
	単票	連帳	
-o -S_文字サイズ	○	○	×
-o -T_データタイプ	○	○	○

○：有効、×：使用不可

表2.10 拡張(oモードリスト)

コマンドオプション	プリンタ装置のプリンタタイプとエミュレーション		
	FNP		66XX
	ページプリンタ		インパクトプリンタ
	単票	連帳	
-o -o_nobanner	○	○	○
-o -o_length=1～255	○	× (注1)	○ (注2)
-o -o_lpi=行ピッチ	○	○	○ (注3)
-o -o_cpi=文字ピッチ	○	○	○

○：有効、×：使用不可

(注1) ページプリンタ (連帳) は未サポートです。

(注2) 単位は行数のみサポートしています。指定範囲は6LPI指定時6～102行、8LPI指定時8～136行まで有効となります。指定範囲に満たない場合は、6LPI指定時6行、8LPI指定時8行とみなし、指定範囲を超えた場合は、6LPI指定時102行、8LPI指定時136行とみなします。また、1/2インチ (6LPI指定時は3行、8LPI指定時は4行) で割り切れない値を指定した場合は、1/2インチ単位に切り上げられます。

(注3) 6LPI、8LPIのみサポートしています。

表2.11 拡張(yモードリスト) (続く)

コマンドオプション	プリンタ装置のプリンタタイプとエミュレーション		
	FNP		66XX
	ページプリンタ		インパクトプリンタ
	単票	連帳	
-o -y_testprint	○	○	×
-o -y_pcode=用紙コード名	○	○	×
-o -y_fn=FCB名	○	○	○ (注1)
-o -y_fp=FCB検索パス名	○	○	○ (注1)
-o -y_on=フォームオーバーレイ名	○	○	—
-o -y_op=オーバーレイ検索パス名	○	○	—
-o -y_opf=オーバーレイ検索パス格納ファイル名	○	○	—
-o -y_copies=ページ複写数 [:焼付け数]	○	○	—
-o -y_eucJP	○	○	○
-o -y_PCK	○	○	○
-o -y_UCS-2	○	○	—
-o -y_UTF-8	○	○	—
-o -y_UTF-16	○	○	—
-o -y_proportional	○	○	—
-o -y_gothic	○	○	—
-o -y_ankfont=gothic courier swiss dutch symbol OCR-B	○	○	—
-o -y_xsize=印刷原点位置X方向	○	○	—
-o -y_ysize=印刷原点位置Y方向	○	○	—
-o -y_dpi=240 400 600 1200 (注2)	○	○	—
-o -y_nfpag=部番号:ファイル 番号:頁番号	○	○	○
-o -y_exmagnify=LPA4 LPB4 0.8 (注2)	○	—	—
-o -y_magnify=reduction 0.7	○ (注3)	—	—
-o -y_reduction	○ (注3)	—	—
-o -y_bind=left upper	○	—	—
-o -y_side=front both	○	—	—
-o -y_wide=とじしろ幅	○	—	—
-o -y_punch=ON OFF	○ (注4)	—	—
-o -y_staple=parallel bias 2place no	○ (注4)	—	—

○: 有効、—: 無視、×: 使用不可

表2.11 拡張(yモードリスト) (続き)

コマンドオプション	プリンタ装置のプリンタタイプとエミュレーション		
	FNP		66XX
	ページプリンタ		インパクトプリンタ
	単票	連帳	
-o -y_out=排紙先	○	—	—
-o -y_in=main1 main2 main3 main4	○	—	—
-o -y_portrait	○	—	—
-o -y_landscape	○	—	—
-o -y_size=a3 a4 a5 b4 b5 lt	○	—	—
-o -y_banneropt=給紙口:用 紙サイズ:印刷方向	○	—	—
-o -y_exlength=用紙長	—	○	—
-o -y_offset=y n	—	○	—

○:有効、—:無視、×:使用不可

- (注1) FCBファイルで指定した項目は、用紙の長さの項目のみ有効となります。行間隔の項目は無効となります。また、“simple”データ印刷時にFCBファイルを使用したい場合は、“-o -T_cobol”を指定してください。
- (注2) “-o -y_exmagnify”、“-o -y_dpi”とエンジン解像度の関係は表2.17を参照してください。
- (注3) “-o -y_magnify=0.7”、“-o -y_magnify=reduction”、“-o -y_reduction”と指定した場合、実際には66%縮小で印刷されます。
- (注4) VSP4730Bのみ指定できます。その他のプリンタ装置は未サポートです。また、バナーページはステープルとじ指定が無効となります。

2.2 lpコマンドオプション詳細

当製品で使用可能なlpコマンドオプションの詳細について説明します。

2.2.1 -E （暗号化）

他のプリントサーバに定義されたプリンタに印刷する場合にプリントサーバへの通信を暗号化するオプションです。

本オプションは使用できません。

2.2.2 -c （スプール複写指定）

lpコマンドの標準入力に印刷データを渡した場合は、本オプションの有無に関わらず、印刷データはスプールに複写されます。しかし、印刷完了、キャンセル、中断した場合、即座に削除されます。印刷データを削除しないで保存したい場合は、CUPSの設定が必要です。CUPSの設定については、「【導入編】2.3 CUPSの設定」を参照してください。

2.2.3 -d destination （印刷先プリンタ指定）

印刷先プリンタを指定します。

2.2.4 -h server （印刷先プリントサーバ指定）

印刷先プリントサーバ名を指定します。デフォルトは、“localhost”です。

本オプションは使用できません。

2.2.5 -m （印刷完了mail通知）

印刷完了通知が、mailにて通知されます。

本オプションは使用できません。

2.2.6 -n num-copies （部数指定）

部数を指定します。本オプションを‘2’として、2ページのデータを印刷した場合、「1ページ、2ページ、1ページ、2ページ」と印刷されます。

1～9999までの指定が可能です。省略時は、1指定となります。

2.2.7 -q priority （印刷優先順位）

印刷要求に印刷優先順位を割り付けます。1～100までの指定が可能です。100が最も優先順位が高いことを表しています。デフォルトは50です。

2.2.8 -s (lp からのメッセージ出力抑止)

lpコマンド実行時のメッセージ出力を抑止します。

2.2.9 -t title (タイトル指定)

“title”として指定された内容が、バナーページのタイトル部分に印刷されます。

“title”に空白あるいは記号文字が含まれる場合は二重引用符で囲んでください。

指定可能な文字列は、英数字のみです。「#’/¥”\$& () *;<>?[`|」等の記号文字は、“_”または空白となる場合があります。

省略時は、印刷ファイル名がタイトルとなります。

2.2.10 -H handling (保留/保留解除/優先印刷)

hold、resume、immediateのいずれかを指定します。

「hold」は、印刷要求を保留します。

「resume」は、保留された印刷要求を保留解除します。

「immediate」は、指定された印刷を現在印刷中の印刷要求の次に印刷します。

2.2.11 -P page-list (ページ指定)

印刷対象ページを指定します。指定可能な形式を表2.12に示します。

表2.12 -P オプションサポート範囲

page-list形式	動作
n	nページのみ印刷
m-n	mページからnページまで印刷
m-	mページ以降印刷

(注) “-P 1,2,4”といった個別にページを複数指定する方法はサポートしていません。

複数部数印刷時には、すべての部数に本指定が有効となります。

2.2.12 -i job-id (印刷要求指定)

印刷要求を指定します。

2.3 拡張lpコマンドオプション詳細

本製品では、独自に[-o option]を拡張しています。

2.3.1 基本オプション

2.3.1.1 -S_character-set (character-set で示す文字セットで印刷)

データタイプが“simple”の場合に、“character-set”には、表2.13の文字セットを指定します。デフォルトは10.5pointです。

表2.13 -S オプションサポート範囲

character-set	印刷文字サイズ
7point	7point
9point	9point
10.5point	10.5point
12point	12point
cs0	10.5point
cs1	7point
cs2	9point
cs3	12point

以下に“-o -S_character-set”の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -S_7point 印刷ファイル名

2.3.1.2 -T_content-type (データタイプ)

印刷するデータタイプを指定します。-Tで指定できるデータタイプは以下のとおりです。デフォルトは“simple”です。

データタイプが“FMeuc”の場合、“-o -y_UTF-8”を同時に指定してください。

- simple テキスト印刷
- cobol COBOL印刷
- FMeuc MeFt印刷

以下に“-o -T_content-type”の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -T_cobol 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -T_FMeuc -o -y_UTF-8 印刷ファイル名

2.3.2 oモードリスト

“-o -o_XXXX (XXXX：後述の文字列)”の形式のオプションを、本製品では、oモードリストと呼びます。

oモードリストで指定されたプリントモードに応じて印刷を行います。oモードリストについて以下に説明します。

2.3.2.1 -o_nobanner（バナー印刷抑止）

バナーページの印刷を抑止します。

以下に“-o -o_nobanner”の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -o_nobanner 印刷ファイル名

2.3.2.2 -o_length（ページ長指定）

データタイプが“simple”の場合に、1ページ内の行数を指定します。1～255までの指定が可能です。インチ指定、センチメートル指定はサポートしていません。FNPエミュレーションで、指定値以外を設定した場合やオプションを指定しなかった場合、改ページは行わず1ページのための印刷になります。

連帳ページプリンタのページ長は、“-o -y_exlength”で指定してください。

以下に“-o -o_length”の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -o_length=ページ長 印刷ファイル名

2.3.2.3 -o_lpi（改行ピッチ指定）

データタイプが“simple”および“cobol”の場合に、1インチあたりの行数を指定します。表2.14に示す指定値以外を設定した場合は、デフォルト値が設定されます。

表2.14 -o_lpi オプションサポート範囲

プリンタタイプ	指定範囲	デフォルト
ページプリンタ	6、8、12	6
インパクトプリンタ	6、8	6

以下に“-o -o_lpi”の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -o_lpi=改行ピッチ 印刷ファイル名

2.3.2.4 -o_cpi（文字ピッチ指定）

1インチあたりの文字数を整数値で指定します。表2.15に示す範囲の整数値以外を設定した場合は、デフォルト値が設定されます。

表2.15 -o_cpi オプションサポート範囲

プリンタタイプ	指定範囲	デフォルト	指定可能なデータタイプ
ページプリンタ	6～15	180/14CPI	simple、cobol
インパクトプリンタ	10、12、13（注）、15	プリンタパネルで設定した文字ピッチ	simple

（注） 40/3CPIとなります。

以下に“-o -o_cpi”の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -o_cpi=文字ピッチ 印刷ファイル名

2.3.3 yモードリスト

“-o -y_XXXX (XXXX：後述の文字列)”の形式のオプションを、本製品では、yモードリストと呼びます。

yモードリストで指定されたプリントモードに応じて印刷を行います。yモードリストについて以下に説明します。

2.3.3.1 -y_testprint (試し打ち)

試し打ちを行います。試し打ち終了後、「試し打ちが終了しました」というメッセージを通知し、印刷は停止します。印刷の再開は、lpadvanコマンドまたはアラート機能により行います。

本オプションは“-o -y_pcode”と同時に指定しないでください。指定した場合、本オプションは無効となります。

以下に“-o -y_testprint”の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_testprint 印刷ファイル名

2.3.3.2 -y_pcode (用紙コード名)

用紙の掛け替えを指定します。指定した用紙コード名が用紙掛け替え時に通知されます。用紙コード名は英数字（255バイトまで）が指定可能です。用紙掛け替え後の印刷の再開は、lpadvanコマンドまたはアラート機能により行います。

本オプションは“-o -y_testprint”と同時に指定しないでください。

以下に“-o -y_pcode”の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_pcode=用紙コード名 印刷ファイル名

2.3.3.3 -y_fn (FCB名)

縦方向の制御を行うFCB名を指定します。縦方向の制御コードを含まないデータを印刷する場合にFCBによる制御を指定するものです。FCB名は英数字（255バイトまで）が指定可能です。

以下に“-o -y_fn”の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_fn=FCBファイル名 印刷ファイル名

2.3.3.4 -y_fp (FCB検索パス)

“-o -y_fn”でFCB名をファイル名で指定した場合にFCBファイルの検索パス名を指定します。省略時は、システム標準のディレクトリ（“/usr/local/lib/FJSVlp/fcbe/”）だけが検索されます。

パス名には、“/home/user1:/home/user2”のようにコロンで区切って複数個の検索パス（最大32個）を指定できます。この場合、先頭のパスから順にパスの最後に“/fcbe”を付加して“/home/user1/fcbe”、“/home/user2/fcbe”の検索が行われます。この検索で見つからない場合、システム標準のディレクトリが検索されます。パス名は英数字（255バイトまで）が指定可能です。

以下に“-o -y_fp”の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_fn=FCB名 -o -y_fp=FCB検索パス 印刷ファイル名

2.3.3.5 -y_on（オーバーレイ名）

印刷時に重畳するフォームオーバーレイ名を指定します。オーバーレイ名にはオーバーレイパターン格納ファイルをファイル名またはフルパス名で指定します。オーバーレイ名は英数字（255バイトまで）が指定可能です。

本オプションでフォームオーバーレイ名をフルパス名で指定する場合、“-o -y_on”、および“-o -y_opf” オプションを指定しないでください。

以下に“-o -y_on”の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_on=オーバーレイ名 印刷ファイル名

2.3.3.6 -y_op（オーバーレイ検索パス）

フォームオーバーレイ格納ファイルの検索パス名をフルパスで指定します。本オプションと“-o -y_opf”（オーバーレイ検索パス格納ファイル名）が共に省略された場合、システム標準のディレクトリ（“/usr/local/lib/FJSVlp/kol5”）だけが検索されます。検索パス名に“/kol5”がなくても検索は可能です。また、本オプションと“-o -y_opf”（オーバーレイ検索パス格納ファイル名）が共に指定された場合、本オプションが有効となります。指定された検索パスにオーバーレイが存在しない場合、システム標準のディレクトリが検索されます。

パス名には、“/home/user1:/home/user2”のようにコロンの区切って複数個の検索パス（最大32個）を指定できます。検索順序については「【機能編】付録 C.1.3 フォームオーバーレイの検索」を参照してください。パス名は英数字（255バイトまで）が指定可能です。

以下に“-o -y_op”の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_on=オーバーレイ名 -o -y_op=オーバーレイ検索パス 印刷ファイル名

2.3.3.7 -y_opf（オーバーレイ検索パス格納ファイル名）

オーバーレイ検索パス名が記載されたテキストファイル名をフルパスで指定します。“-o -y_op”（オーバーレイ検索パス）と本オプションが共に省略された場合、システム標準のディレクトリ（“/usr/local/lib/FJSVlp/kol5”）だけが検索されます。検索パス名に“/kol5”がなくても検索は可能です。また、“-o -y_op”（オーバーレイ検索パス）と本オプションが共に指定された場合、“-o -y_op”オプションが有効となります。指定された検索パスにオーバーレイが存在しない場合、システム標準のディレクトリが検索されます。

オーバーレイ検索パス名格納ファイルにパス名を複数記述する場合には、1行に1パス（1パス255バイトまで、255バイトを超えた場合そのパスは無効）で最大32個の検索パスが指定できます。検索パスを33個以上指定した場合、33個目以降は無視されます。

以下に“-o -y_opf”の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_on=オーバーレイ名 -o -y_opf=オーバーレイ検索パス格納ファイル名 印刷ファイル名

[例] オーバーレイ検索パス名格納ファイルの内容

[OVL-PATH]	# オーバーレイ検索パス
/home/user1	# パス1
/home/user2	# パス2
:	
/home/user32	# パス32

←先頭行の“[OVL-PATH]”は必須です。
←“#”以降はコメントとみなされます。

2.3.3.8 -y_copies（ページ複写数、焼き付け数）

ページ複写数、および、焼き付け数を指定します。ページ複写数には1～999までの指定が可能です。焼き付け数には1～ページ複写数までの指定が可能です。

ページ複写数、および、焼き付け数を指定する場合、“-o -y_copies=ページ複写数 [:焼き付け数]”と指定します。焼き付け数はシーケンスオーバーレイを使用する場合に有効となります。焼き付け数を指定しない場合は、全複写ページにオーバーレイパターンが焼き付けられて印刷されます。本オプション省略時は‘1:1’とみなされます。

ページ複写数、焼き付け数については、『【機能編】C.1 フォームオーバーレイ印刷』を参照してください。

以下に“-o -y_copies”の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_copies=3:2 印刷ファイル名

2.3.3.9 -y_eucJP（S90コード系）

印刷データの文字コード系をS90として印刷します。“simple”および“cobol”データ印刷時にのみ指定が有効となります。本オプション省略時は、U90コード系で印刷されます。

以下に“-o -y_eucJP”の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_eucJP 印刷ファイル名

2.3.3.10 -y_PCK（SJISコード系）

印刷データの文字コード系をシフトJISとして印刷します。“simple”および“cobol”データ印刷時にのみ指定が有効となります。本オプション省略時は、U90コード系で印刷されます。

以下に“-o -y_PCK”の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_PCK 印刷ファイル名

2.3.3.11 -y_UCS-2（UCS-2コード系）

印刷データの文字コード系をUCS-2（UNICODE）として印刷します。“simple”データ印刷時にのみ指定が有効となります。本オプション省略時は、U90コード系で印刷されます。

以下に“-o -y_UCS-2”の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_UCS-2 印刷ファイル名

2.3.3.12 -y_UTF-8（UTF-8コード系）

印刷データの文字コード系をUTF-8（UNICODE）として印刷します。本オプション省略時は、U90コード系で印刷されます。

以下に“-o -y_UTF-8”の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_UTF-8 印刷ファイル名

2.3.3.13 -y_UTF-16 (UTF-16コード系)

印刷データの文字コード系をUTF-16 (UNICODE) として印刷します。“simple” データ印刷時にのみ指定が有効となります。本オプション省略時は、U90コード系で印刷されます。

ただし、サロゲート文字 (0xd800~0xdfff) には、対応していません。

以下に “-o -y_UTF-16” の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_UTF-16 印刷ファイル名

2.3.3.14 -y_proportional (欧文ピッチ)

欧文のピッチで印刷します。“simple” データ印刷時にのみ有効です。本オプションを指定した場合、英数字の文字ピッチが均一でなくなるため、日本語が混在しているテキストの印刷には不向きです。

なお、FNPエミュレーションで “-o -y_ankfont=swiss”、“-o -y_ankfont=dutch”、“-o -y_ankfont=symbol” のいずれかが同時に指定された場合のみ有効になります。

以下に “-o -y_proportional” の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_ankfont=swiss -o -y_proportional 印刷ファイル名

2.3.3.15 -y_gothic (ゴシック体)

ゴシック体で印刷します。“simple” データ印刷時にのみ有効です。

以下に “-o -y_gothic” の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_gothic 印刷ファイル名

2.3.3.16 -y_ankfont (ANK書体)

ANKの書体を指定します。“simple” および “cobol” データ印刷時にのみ有効です。指定できる値は以下のとおりです。

- gothic
- courier
- swiss
- dutch
- symbol
- OCR-B

本オプションを省略すると、“simple” データ印刷時は明朝体 (注)、cobolデータ印刷時はgothicとなります。

(注) ANKではなく、漢字半角で印刷されます。

以下に “-o -y_ankfont” の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_ankfont=courier 印刷ファイル名

2.3.3.17 -y_xsize (印刷原点位置 X 方向)

印刷原点位置の X 方向 (左端からの移動) をインチ単位 (小数指定可) で指定します。ただし、I 制御中に印刷原点位置の指定がある場合は、I 制御が有効となります。また、印刷原点位置を指定することによって 1 ページで収まらなくなる可能性があります。

以下に “-o -y_xsize” の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_xsize=印刷原点位置 X 方向 印刷ファイル名

2.3.3.18 -y_ysize (印刷原点位置 Y 方向)

印刷原点位置の Y 方向 (上端からの移動) をインチ単位 (小数指定可) で指定します。ただし、I 制御中に印刷原点位置の指定がある場合は、I 制御が有効となります。また、印刷原点位置を指定することによって 1 ページで収まらなくなる可能性があります。

以下に “-o -y_ysize” の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_ysize=印刷原点位置 Y 方向 印刷ファイル名

2.3.3.19 -y_dpi (解像度)

プリンタ装置の印刷解像度を指定します。指定可能な値については、表 2.16 に示すとおりです。また、他のオプションとの関連については表 2.17 を参照してください。

表 2.16 dpi について

プリンタ搭載解像度	指定可能な値	デフォルト
240, 400, 600, 1200dpi	240, 400, 600, 1200	240
240, 400, 600dpi	240, 400, 600	240
240, 400dpi	240, 400	240
600dpi	600	600
600, 1200dpi	600, 1200	600

以下に “-o -y_dpi” の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_dpi=240 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -y_dpi=400 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -y_dpi=600 印刷ファイル名

2.3.3.20 -y_exmagnify (縮刷印刷)

縮刷印刷ができます。縮刷印刷はオーバーレイデータにも有効となります。ただし、本オプションはバナーページには有効となりません。

縮刷印刷は以下の2通りで行えます。

(1) LPA4偏倍指定、LPB4偏倍指定

LPサイズ (136×66行) の帳票をA4サイズ、またはB4サイズへ縮小印刷ができます。

“-o -y_exmagnify=LPA4”と指定した場合、縦を約66%、横を約80%光学縮小し、A4用紙にランドスケープで印刷します。“-o -y_exmagnify=LPB4”と指定した場合、縦のみを約80%光学縮小し、B4用紙にランドスケープで印刷します。

以下に“-o -y_exmagnify”でのLPA4偏倍指定、および、LPB4偏倍指定の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_exmagnify=LPA4 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -y_exmagnify=LPB4 印刷ファイル名

(2) 縮刷80%指定

B4サイズの帳票をA4サイズへ縮小印刷することができます。

以下に“-o -y_exmagnify”での縮刷80%指定の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_exmagnify=0.8 印刷ファイル名

-y_exmagnifyの注意事項

- -y_magnify、または、I制御情報の印刷形式と同時に指定しないでください。
- 180dpiの印刷データに対して指定した場合、無視します。
- -y_dpiと-y_exmagnify指定と実際の印刷との関係は表2.17に示すとおりです。

表2.17 exmagnifyについて

印刷データ タイプ	データ解像度	“-o -y_dpi”	“-o -y_exmagnify”	印刷結果	
				解像度 (注2)	縮小
simple	なし	なし	任意	装置最低解像度	○ (注4)
		任意	なし	“-o -y_dpi”指定値	—
cobl	なし	なし	任意	装置最低解像度	○ (注4)
		任意	なし	“-o -y_dpi”指定値	—
FMeuc	240～1200dpi	無効 (注1)	任意	データ解像度 (注3)	× (注3)
			なし		—

○：有効、×：無効、—：未指定のため状態変化しない。

(注1) 印刷データ中に解像度を指定するオーダが含まれています。

(注2) オーレイ印刷の場合は、印刷解像度とオーレイファイルの解像度を一致させてください。

(注3) MeFt (FMeuc) が出力する印刷データには、解像度、縮刷、用紙長を制御するオーダが設定されています。yモードリストを使用し指定する必要はありません。

(注4) yモードリストの“size” (用紙サイズ指定)、“in” (給紙口指定) は無効になります。

2.3.3.21 -y_magnify (縮小印刷)

縮小倍率を小数点付き数値、またはキーワードで指定します。“-o -y_magnify=reduction” (66%縮小印刷)、または、“-o -y_magnify=0.7” (66%縮小印刷) が指定可能です。本オプション省略時は標準倍率 (100%) で印刷されます。

以下に “-o -y_magnify” の指定方法について例を示します。

- `lp -d プリンタ名 -o -y_magnify=reduction 印刷ファイル名` (66%縮小印刷)
- `lp -d プリンタ名 -o -y_magnify=0.7 印刷ファイル名` (66%縮小印刷)

2.3.3.22 -y_reduction (縮小印刷)

“-o -y_magnify=reduction” (66%縮小印刷) と同機能です。

以下に “-o -y_reduction” の指定方法について例を示します。

- `lp -d プリンタ名 -o -y_reduction 印刷ファイル名`

2.3.3.23 -y_bind (とじしろ方向)

とじしろ方向を指定します。“left” (左とじ)、または “upper” (上とじ) が指定可能です。とじしろ幅は “-o -y_wide” で指定してください。

以下に “-o -y_bind” の指定方法について例を示します。

- `lp -d プリンタ名 -o -y_bind=left -o -y_wide=とじしろ幅 -o -y_side=both 印刷ファイル名`
- `lp -d プリンタ名 -o -y_bind=upper -o -y_wide=とじしろ幅 -o -y_side=both 印刷ファイル名`

2.3.3.24 -y_side（印刷面）

単票用紙に対して“front”（片面印刷）、または“both”（両面印刷）を指定します。省略時は“front”とみなされます。本オプションは、両面印刷機構を備えている単票ページプリンタ（FNPエミュレーション）にのみ有効です。

以下に“-o -y_side”の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_side=front 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -y_side=both 印刷ファイル名

2.3.3.25 -y_wide（とじしろ幅）

とじしろ幅をインチ単位（小数指定可）で指定します。この指定は“-o -y_side=both”（両面印刷）、および、“-o -y_bind”（とじしろ方向）を指定した場合のみ有効となります。ただし、両面印刷を指定しない場合、および、とじしろ方向を指定しない場合、とじしろ幅は無効となります。また、とじしろ幅は表面のみに有効です。

以下に“-o -y_wide”の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_side=both -o -y_bind=left -o -y_wide=とじしろ幅 印刷ファイル名

表2.18 とじしろ方向／印刷面／とじしろ幅オプションの関係

オプション指定			印刷結果			
-y_side	-y_bind	-y_wide	印刷面	とじしろ方向	とじしろ幅	
指定なし	指定なし	指定なし	片面印刷	無効	無効	
		指定あり				
	指定あり	指定なし				指定あり
		指定あり				
front	指定なし	指定なし	片面印刷	無効		
		指定あり				
	指定あり	指定なし				指定あり
		指定あり				
both	指定なし	指定なし	両面印刷	左とじ		
		指定あり				
	指定あり	指定なし		bind指定値が有効		指定値が有効
		指定あり				

2.3.3.26 -y_punch（穴あけ）

穴あけを指定します。“ON”（穴あり）、“OFF”（穴なし）が指定できます。

穴を開ける方向は“-o -y_bind”（とじしろ方向）で指定してください。指定しない場合は、左とじとなります。

このオプションはVSP4730Bで穴あけ機能を有する論理プリンタのみ有効となります。

排紙先が、セカンドトレイ／大容量トレイ時に有効となります。

用紙サイズ毎に穴あけ可能な方向が異なります。表2.19を参照してください。

表2.19 用紙サイズ毎の穴あけ可能な方向

用紙サイズ	用紙方向	とじしろ方向	穴あけの可／不可
A4、B5、LT	ポートレート	左とじ	○
		上とじ	×
	ランドスケープ	左とじ	×
		上とじ	○
A3、B4	ポートレート	左とじ	×
		上とじ	○
	ランドスケープ	左とじ	○
		上とじ	×
A5	ポートレート	左とじ	○
		上とじ	×
	ランドスケープ	左とじ	×
		上とじ	○

○：可能、×：不可能

以下に“-o -y_punch”の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_punch=ON 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -y_punch=OFF 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -y_punch=ON -o -y_bind=upper 印刷ファイル名

2.3.3.27 -y_staple（ステープルとじ方法）

ステープルとじ方法を指定します。“parallel”（1ヶ所平行）、“bias”（1ヶ所斜め）、“2place”（2ヶ所）、“no”（ステープルとじなし）が指定できます。

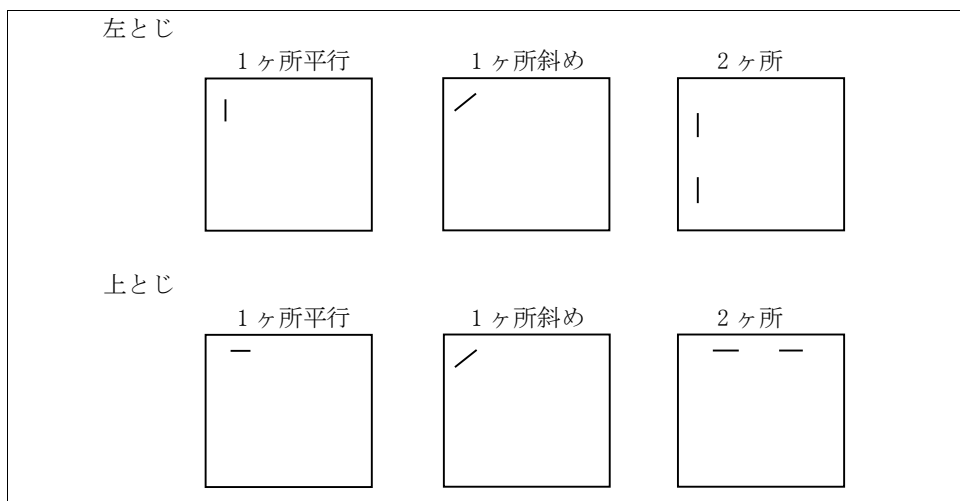


図2.1 ステープルとじ位置

ステープルとじの方向は“-o -y_bind”（とじしろ方向）で指定してください。指定しない場合は、左とじとなります。

このオプションはVSP4730Bでステープルとじ機能を有する論理プリンタのみ有効となります。

排紙先が、大容量トレイ時に有効となります。

バナーを除く印刷物が綴じられます。

ステープルとじが可能な枚数は、用紙サイズによって異なります。表2. 20を参照してください。
 なお、1枚の場合、ステープルとじは行われません。また、ステープルとじ枚数の上限値を超えた場合も、上限値を超えていない枚数も含めてステープルとじは行われません。

表2. 20 用紙サイズ毎のとじ可能枚数

用紙サイズ	ステープルとじが可能な枚数
A4、B5、LT	2～50枚
A3、B4	2～30枚
A5	ステープルとじ不可

ステープルとじ方向には、用紙サイズ、用紙方向、とじしろ方向によって、ステープルとじが行われない場合があります。表2. 21を参照してください。
 なお、A5サイズではステープルとじ機能は使用できません。

表2. 21 とじしろ方向による制限

用紙サイズ	用紙方向	とじしろ方向	ステープルとじの可／不可		
			1ヶ所		2ヶ所
			平行	斜め	
A4、B5、LT	ポートレート	左とじ	○	○	○
		上とじ	△（1ヶ所斜め）	○	×
	ランドスケープ	左とじ	△（上とじ1ヶ所平行）	△（上とじ1ヶ所平行）	×
		上とじ	○	△（1ヶ所平行）	○
A3、B4	ポートレート	左とじ	△（上とじ1ヶ所平行）	△（上とじ1ヶ所平行）	×
		上とじ	○	△（1ヶ所平行）	○
	ランドスケープ	左とじ	○	○	○
		上とじ	△（1ヶ所斜め）	○	×
A5	ステープルとじ不可				

○：可能、△：異なるとじ位置に実施、×：不可能

以下に“-o -y_staple”の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_staple=parallel 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -y_staple=bias 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -y_staple=2place 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -y_staple=no 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -y_staple=parallel -o -y_bind=left 印刷ファイル名

2.3.3.28 -y_out（排紙先）

プリンタ装置の排紙先を指定します。“stacker1”から“stacker12”が指定できます。拡張スタッカ3へ排紙する場合、yモードリストの“-y_out=stacker3”オプションで排紙先を指定します。

排紙先の設定はプリンタ装置のパネル設定に依存します。

以下に“-o -y_out”の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_out=stacker1 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -y_out=stacker2 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -y_out=stacker3 印刷ファイル名

2.3.3.29 -y_in（給紙口）

プリンタ装置の給紙口を指定します。

表2.22 給紙口

指定値	給紙口	注意事項
main1	給紙口1	
main2	給紙口2	
main3	給紙口3	
main4	給紙口4	VSP4540B, VSP4540C, VSP4730Bのみ有効

給紙口の指定をlpコマンドの yモードリスト (“-o -y_in=給紙口”)で行う場合は、用紙サイズの指定 (“-o -y_size=用紙サイズ”)が必要となります。

用紙サイズの指定がない場合は、A4サイズとして動作します。

給紙口の設定はプリンタ装置のパネル設定に依存します。(例えば、給紙口1を下段ホッパ／カセット2に割り付けることなどがプリンタのパネル操作で可能です。)

以下に “-o -y_in” の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_in=main1 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -y_in=main2 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -y_in=main3 印刷ファイル名

2.3.3.30 -y_portrait、-y_landscape（印刷方向）

印刷方向を指定します。“-o -y_portrait”を指定すると縦方向に印刷されます。“-o -y_landscape”を指定すると横方向に印刷されます。省略時は、“-o -y_portrait”となります。この指定は、ページプリンタのみに有効なオプションです。

以下に “-o -y_portrait” および “-o -y_landscape” の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_portrait 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -y_landscape 印刷ファイル名

2.3.3.31 -y_size（用紙サイズ）

用紙の大きさを指定します。

表2.23 用紙サイズ

指定値	用紙サイズ
a3	A3
a4	A4
a5	A5
b4	B4
b5	B5
lt	レター

本オプションが省略された場合の用紙サイズは任意（プリンタ装置に装着されている用紙）サイズです。本オプションは、ページプリンタ（単票）にのみ有効なオプションで、指定可能な値は装置ごとに異なります。

印刷データ中に給紙口、用紙サイズ、印刷方向を指定するデータが存在した場合、オプションによる指定は無効となります。

以下に “-o -y_size” の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_size=a3 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -y_size=a4 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -y_size=a5 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -y_size=b4 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -y_size=b5 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -y_size=lt 印刷ファイル名

表2.24 給紙口／用紙サイズ／印刷方向指定オプションの関係

オプション指定			印刷結果		
-y_in	-y_size	-y_portrait/ -y_landscape	選択される給紙口	印刷される用紙 サイズ	印刷される方向
指定 なし	指定 なし	指定なし	給紙口1	A4用紙	ポートレート
		指定あり	印刷される用紙サ イズの存在する給 紙口が自動選択さ れる		オプション指定した印刷方向
	指定 あり	指定なし		-y_sizeで指定さ れた用紙サイズ	ポートレート
		指定あり	オプション指定した印刷方向		
指定 あり	指定 なし	指定なし	-y_inで指定された 給紙口	A4用紙	ポートレート
		指定あり			オプション指定した印刷方向
	指定 あり	指定なし		-y_sizeで指定さ れた用紙サイズ	ポートレート
		指定あり			オプション指定した印刷方向

2.3.3.32 -y_banneropt=給紙口：用紙サイズ：印刷方向（バナー用紙指定）

バナー用紙の給紙口／用紙サイズ／印刷方向を指定します。

給紙口、用紙サイズ、印刷方向の指定方法を以下に示します。

給紙口	自動給紙（注）	給紙口1	給紙口2	給紙口3	給紙口4（注）
指定値	0	1	2	3	4

（注）FNPエミュレーションのみ

用紙サイズ （省略可能）	A3	A4	A5	B4	B5	レター
指定値	A3	A4（デフォルト）	A5	B4	B5	LT

印刷方向（省略可能）	ポートレート	ランドスケープ
指定値	LP（デフォルト）	LA

本オプション省略時には、“-o -y_size”、“-o -y_in”、“-o -y_portrait|-y_landscape”で指定された用紙サイズ、給紙口、用紙方向が有効となり、印刷されます。“-o -y_size”、“-o -y_in”、“-o -y_portrait|-y_landscape”が指定されていない場合は、印刷データで指定されている給紙口、用紙サイズ、印刷方向あるいはプリンタ装置に設定されているデフォルトの給紙口、用紙サイズ、印刷方向となります。

給紙口が指定されていない場合、あるいは指定値に誤りがある場合はエラーとなります。

以下に “-o -y_banneropt” の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_banneropt=2:B4:LA 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -y_banneropt=2 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -y_banneropt=2::LA 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -y_banneropt=2:B4: 印刷ファイル名

2.3.3.33 -y_nfpag=部数番号:ファイル番号:ページ (ページ指定)

印刷再開ページを指定します。

“-p” オプションのページ指定は、全部数、全ファイルに有効となってしまいますが、本オプションは指定された部数、ファイルに対して有効です。指定されたページ以前の部、ファイルは印刷されません。指定以降の部、ファイルは先頭ページから印刷されます。

現在の印刷完了ページは、“read_nfpag” コマンドで調べることができます。

以下に “-o -y_nfpag” の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_nfpag=1:1:10 印刷ファイル名

2.3.3.34 -y_exlength=連帳の用紙長

連帳の用紙長を指定します。連帳の用紙長を11インチ以外に設定する場合、“-o -y_exlength=数値 (インチ)” オプションで用紙長を指定します。指定値は4.0～14.0インチ (小数点第1位まで0.5インチ単位) の範囲内で指定します。本オプションが省略された場合、プリンタ装置の設定に従います。

ページプリンタ (連帳) へ印刷する場合のみ、本オプションの指定が有効になります。

以下に “-o -y_exlength” の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_exlength=用紙長 印刷ファイル名

2.3.3.35 -y_offset (コピーセパレーションマーク)

コピーセパレーションマークの切り替えを指定します。“-o -y_offset=y” (コピーセパレーションマークを切り替える)、または、“-o -y_offset=n” (コピーセパレーションマークを切り替えない) が指定可能です。本オプション省略時は、環境ファイル (bsnpsenv) のOFFSETの指定に従います。環境ファイルの設定値については、「【導入編】付録B 環境ファイル」を参照してください。

以下に “-o -y_offset” の指定方法について例を示します。

- lp -d プリンタ名 -o -y_offset=y 印刷ファイル名
- lp -d プリンタ名 -o -y_offset=n 印刷ファイル名

第3章 lp関連コマンド

本章では、lpstatコマンドなどのlp関連コマンドについて説明します。
本章の構成は、以下のとおりです。

- 3.1 lpstatコマンド
- 3.2 cancelコマンド
- 3.3 lptionsコマンド

3.1 lpstatコマンド

lpstatコマンドは、CUPSプリントサービスの状態を標準出力に表示します。

3.1.1 lpstatコマンド指定形式

lpstatコマンド指定形式は、下記のとおりです。

```
lpstat [-E] [-a [destination(s)]] [-c [class(es)]] [-d ] [-h server]
        [-l] [-o [list]] [-p [printer(s)]] [-r] [-R] [-s] [-t]
        [-u [login-ID-list]] [-v [printer(s)]] [-W [which-jobs]]
```

3.1.2 lpstatコマンドオプション

lpstatコマンドで指定できる各種オプションを表3.1に示します。

表3.1 lpstatコマンドオプション

オプション	機能
-E	サーバとの通信を暗号化
-a [destination(s)]	印刷受け入れ可否通知
-c [class(es)]	プリンタクラス通知
-d	デフォルトプリンタ名表示
-h server	サーバ指定
-l	プリンタの詳細情報表示
-o [list]	印刷状態表示
-p [printer(s)]	プリンタの状態表示
-r	lpスケジューラ状態表示
-R	印刷待ち行列における要求毎の位置を表す数値を表示
-s	要約された状態情報表示
-t	全情報表示
-u [login-ID-list]	ユーザ用の出力要求状態表示
-v [printer(s)]	プリンタ名と対応しているデバイス情報表示
-W [which-jobs]	印刷完了ジョブ、印刷未完了ジョブ表示

-E (サーバとの通信を暗号化)

サーバとの通信を暗号化します。
本オプションは使用できません。

-a [destination(s)] (印刷受け入れ可否通知)

印刷受け入れ可否を表示します。

```
$ lpstat -a
vsp4540b accepting requests since Jan 01 00:00
```

destination(s)引数には、プリンタ名を指定できます。

-c [class(es)] (プリンタクラス通知)

プリンタクラスを表示します。

```
$ lpstat -c
members of class testgrp:
    test
    test2
```

class(es)引数には、プリンタクラス名を指定できます。

本オプションは使用できません。

-d (デフォルトプリンタ名表示)

デフォルトのプリンタ名を表示します。

```
$ lpstat -d
system default destination: vsp4540b
```

-h server (サーバ指定)

サーバを指定します。

server変数には、サーバ名を指定します。

本オプションは使用できません。

-l (プリンタの詳細情報表示)

プリンタ名の詳細情報を表示します。

```
$ lpstat -l -p
```

-o [list] (印刷状態表示)

出力要求の状態を表示します。

```
$ lpstat -o
vsp4540b-2943          root    38684    4月 04 11:00
```

list引数には、表3.2に示す項目を複数指定できます。

表3.2 lpstatコマンド“-o”オプション

list	意味
destination	指定プリンタを対象
なし	全プリンタを対象

-p [printer(s)] (プリンタの状態表示)

プリンタの状態を表示します。

```
$ lpstat -p printername
```

printer(s)引数には、表3.3に示す項目を複数指定できます。

表3.3 lpstatコマンド“-p”オプション

printer(s)	意味
destination	指定プリンタを対象
なし	全プリンタを対象

-r (CUPSプリントサービス状態表示)

CUPSプリントサービスの状態を表示します。

```
$ lpstat -r
scheduler is running
```

-R (印刷待ち行列における要求毎の位置を表す数値を表示)

印刷待ち行列における要求毎の位置を表す数値を表示します。

```
$ lpstat -R -o
0 vsp4540b-2943          root    38684    4月 04 11:00
```

-s (要約された状態情報表示)

要約された状態情報を表示します。表示内容は、-d、-c、-vオプションを指定したときと同様です。

-t (全情報表示)

全情報を表示します。表示内容は、-r、-d、-c、-v、-a、-p、-oオプションを指定したときと同様です。

-u [login-ID-list] (ユーザ用の出力要求状態表示)

ユーザ用の出力要求の状態を表示します。login-ID-list引数には、表3.4に示す項目を複数指定できます。

表3.4 lpstatコマンド“-u”オプション

login-ID-list	意味
login-ID	任意のシステム上に存在するあるユーザを対象

-v [printer(s)] (プリンタ名と対応しているデバイス情報表示)

プリンタ名に対応しているデバイスの情報を表示します。
printer(s)引数には、表3.5に示す項目を複数指定できます。

表3.5 lpstatコマンド“-v”オプション

printer(s)	意味
destination	指定プリンタを対象

-W [which-jobs] (印刷完了ジョブ、印刷未完了ジョブ表示)

印刷完了ジョブ、印刷未完了ジョブを表示します。

```
$ lpstat -W completed -o
$ lpstat -W completed printername
```

which-jobs引数には、completedとnot-completedが指定できます。

印刷が完了したジョブを表示したい場合はcompletedを入力し、まだ印刷が完了していないジョブを表示したい場合はnot-completedを入力します。

また、プリンタごとのジョブを表示したい場合はプリンタ名を指定し、すべてのジョブを表示したい場合は-oを指定します。

3.1.3 lpstatコマンド注意事項

現在印刷中の印刷要求の前に、保留された印刷要求が存在する場合、印刷中の印刷要求IDとして、保留中の印刷要求IDが表示されることがあります。

印刷中の印刷要求IDは、lpqコマンドによって確認できます。lpqコマンドについては「4.2 lpqコマンド」を参照してください。

```
$ lpstat -o
vsp4540b-1121    root      1024    2020年05月10日 09時15分13秒
vsp4540b-1122    root      1024    2020年05月10日 09時15分17秒
vsp4540b-1123    root      1024    2020年05月10日 09時15分20秒
```

プリンタ vsp4540b に印刷要求が3つ (要求ID 1121, 1122, 1123) 存在

```
$ lpstat -p vsp4540b
printer vsp4540b now printing vsp4540b-1121.  enabled since Jan 01 00:00
```

要求ID 1121のジョブが印刷中

ここで印刷中の要求ID(vsp4540b-1121)を保留します。

```
$ lpstat -p vsp4540b
printer vsp4540b now printing vsp4540b-1121.  enabled since Jan 01 00:00
```

```
$ lpq -P vsp4540b
vsp4540b is ready and printing
Rank  Owner  Job   File(s)                Total Size
1st   root   1121  hosts                  1024 bytes
active root 1122 hosts                1024 bytes
2nd   root   1123  hosts                  1024 bytes
```

保留された要求ID 1121のジョブが印刷中として表示されている。実際には要求ID 1122が印刷中となっている。

印刷中のジョブであることを示しています

3.2 cancelコマンド

cancelコマンドは、印刷要求を取り消します。

3.2.1 cancelコマンド指定形式

cancelコマンド指定形式は、下記のとおりです。

```
cancel [ -h server ] [ job-id ... ] [ destination ... ]  
cancel [ -h server ] [ -a destination ... ] [ -u user ]
```

3.2.2 cancelコマンドオプション

cancelコマンドで指定できる各種オプションを表3.6に示します。

表3.6 cancelコマンドオプション

オプション	機能
-h server	サーバ指定
job-id	印刷要求毎の印刷取り消し
destination	印刷要求を取り消すプリンタ名
-a destination	プリンタ毎の印刷取り消し
-u user	ユーザ毎の印刷取り消し

-h server（サーバ指定）

サーバを指定します。

server変数には、サーバ名を指定します。

本オプションは使用できません。

job-id（印刷要求毎の印刷取り消し）

指定された印刷要求を取り消します。

destination（印刷要求を取り消すプリンタ名）

指定されたプリンタ名の先頭にある印刷要求を一個取り消します。

補足：同一プリンタに印刷要求が複数あり、先頭の印刷要求が保留状態、2つめの印刷要求が印刷中のとき、プリンタ名を指定して取り消した場合、保留中の要求が取り消されます。

-a destination（プリンタ毎の印刷取り消し）

指定されたプリンタ名にある印刷要求をすべて取り消します。

本オプションはスーパー・ユーザ権限を持つユーザのみ指定可能です。

-u user（ユーザ毎の印刷取り消し）

指定されたユーザによる印刷要求をすべて取り消します。

本オプションはスーパー・ユーザ権限を持つユーザのみ指定可能です。

3.3 lpoptionsコマンド

lpoptionsコマンドは、デフォルトプリンタの設定およびプリンタ毎に、lpまたはlprの-oオプションの登録を行います。

3.3.1 lpoptionsコマンド指定形式

lpoptionsコマンド指定形式は、下記のとおりです。

```
lpoptions [ -h server ] -d destination[/instance] [ -o option=value ] ...
[ -o option=value ]
lpoptions [ -h server ] [ -E ] [ -p destination[/instance] ] -l
lpoptions [ -h server ] [ -E ] [ -o option=value ] ... [ -o option=value ]
[ -p destination[/instance] ] -r option
lpoptions [ -h server ] [ -E ] -x destination[/instance]
```

3.3.2 lpoptionsコマンドオプション

lpoptionsコマンドで指定できる各種オプションを表3.7に示します。

表3.7 lpoptionsコマンドオプション

オプション	機能
-h server	サーバ指定
-d destination[/instance]	デフォルトプリンタ名を指定
-o option=value	登録オプションを指定
-E	サーバとの通信を暗号化
-p destination[/instance]	プリンタ名指定、プリンタの登録オプション表示
-l	詳細表示
-r option	指定したオプションの削除
-x destination[/instance]	プリンタに登録されているオプションの初期化

-h server (サーバ指定)

サーバを指定します。

server変数には、サーバ名を指定します。

本オプションは使用できません。

-d destination[/instance] (デフォルトプリンタ名を指定)

指定されたプリンタをデフォルトプリンタとします。

instance指定は使用できません。

-o option=value (登録オプションを指定)

指定されたプリンタ名の-oオプションを登録します。

```
# lpoptions -p printername -o options
```

-E (サーバとの通信を暗号化)

サーバとの通信を暗号化します。

本オプションは使用できません。

-p destination[/instance] (プリンタ名指定、プリンタの登録オプション表示)

指定されたプリンタに登録されているオプションを表示します。

```
# lpoptions -p test
job-sheets=none,none -o_nobanner=true
```

デフォルトで“job-sheets=none,none”が設定されていますが、このオプションは無効です。
-oオプションで“=”が付かないオプションを指定すると“-o_nobanner=true”のように“=true”
が付加されて表示されます。
instance指定は使用できません。

-l (詳細表示)

詳細表示します。
本オプションは使用できません。

-r option (指定したオプションの削除)

指定されたプリンタ名に登録されている-oオプションを指定して削除します。

-x destination[/instance] (プリンタに登録されているオプションの初期化)

指定されたプリンタ名に登録されている-oオプションを初期化します。
instance指定は使用できません。

注意 lpoptionsコマンドをご使用の場合、以下の点に注意してください。

- lpoptionsコマンドは、一般ユーザでも使用可能ですが、一般ユーザで指定したデフォルトプリンタおよび-oオプションはそのユーザの印刷のみで有効となります。
すべてのユーザの印刷にて有効にする場合は、必ずスーパー・ユーザで実行してください。
- 一般ユーザでlpoptionsコマンドにて設定を行った場合には、そのユーザからの印刷ではスーパー・ユーザが行った設定は無効となります。
スーパー・ユーザが行った設定を有効にする場合は、下記のいずれかのファイルを削除してください。お使いのディストリビューションによって異なります。
ユーザのホームディレクトリ/.lpoptions
ユーザのホームディレクトリ/.cups/lpoptions
なお、スーパー・ユーザで行った共通の設定をすべて無効にする場合には、
“/etc/cups/lpoptions” ファイルを削除してください。

第4章 lpr コマンド

本章では、lpr コマンドとその関連コマンドについて説明します。
本章の構成は、以下のとおりです。

- 4.1 lpr コマンド
- 4.2 lpq コマンド
- 4.3 lprm コマンド

4.1 lprコマンド

lprコマンドは、印刷先プリンタに印刷データを送信します。

4.1.1 lprコマンド指定形式

lprコマンド指定形式は、下記のとおりです。

lpr [-P destination] [-# number] [-J job] [-o option] [印刷ファイル名 ...]

4.1.2 lprコマンドオプション

lprコマンドで指定できる各種オプションを表4.1に示します。

表4.1 lprコマンドオプション

オプション	機能
-P destination	印刷先プリンタ指定
-# number	部数指定
-J job	印刷JOB名指定
-o option	lpコマンドの[-o option]と同じ。
印刷ファイル名	印刷データ

-P destination（印刷先プリンタ指定）

“destination”として、“プリンタ名”を指定します。

-# number（部数指定）

“number”として、部数を指定します。本指定を‘2’として、2ページのデータを印刷した場合、
「1ページ、2ページ、1ページ、2ページ」と印刷されます。
省略時は、1部指定となります。

-J job（印刷JOB名指定）

“job”として、指定した内容がバナーページのタイトル部分に印刷されます。
“job”に空白あるいは記号文字が含まれる場合は二重引用符で囲んでください。
指定可能な文字列は、英数字のみです。
「#’/¥”\$& () *;<?[^`|」等の記号文字は、“_”、または、空白となる場合があります。
省略時は、印刷ファイル名が印刷JOB名となります。

-o option

lpコマンドの[-o option]と同じです。

印刷ファイル名（印刷データ）

印刷データを1ファイル指定します。省略時は、標準入力を使用します。

4.1.3 lprコマンド注意事項

表4.2に示すオプションは使用できません。

表4.2 未サポートlprコマンドオプション

オプション	機能
-C class	バナーページに印刷するジョブクラス
-T title	バナーページに印刷するタイトル名
-i [indent]	インデント指定
-l -2 -3 -4 font	マウントフォント指定
-w cols	ページ幅指定
-filter_option	filter指定
-s	スプール複写抑止
-m	印刷完了mail通知
-L locale	lprコマンド使用時のロケール
-U user	バナーページに印刷するユーザ名
-Z daemon-options	スプーラ固有オプション

4.2 lpqコマンド

lpqコマンドは、プリンタの状態を標準出力に表示します。

4.2.1 lpqコマンド指定形式

lpqコマンド指定形式は、下記のとおりです。

lpq [-P destination] [-l] [+interval] [user ...] [-a]

4.2.2 lpqコマンドオプション

lpqコマンドで指定できる各種オプションを表4.3に示します。

表4.3 lpqコマンドオプション

オプション	機能
-P destination	印刷先プリンタ指定
-l	long形式表示
+interval	指定間隔(秒)毎に印刷状態表示
user	印刷要求者毎の印刷状態表示
-a	全印刷要求の印刷状態表示

-P destination (印刷先プリンタ指定)

“destination”として、“プリンタ名”を指定します。

本オプションを省略した場合、デフォルトプリンタが表示対象となります。

-l (long形式表示)

状態表示をlong形式で表示します。

+interval (指定間隔(秒)毎に印刷状態表示)

状態表示をintervalで指定された指定間隔(秒)毎に行います。

印刷要求が存在しない場合、本オプションは無効となります。

user (印刷要求者毎の印刷状態表示)

指定された印刷要求者の印刷状態を表示します。

-a (全印刷要求の印刷状態表示)

すべての印刷要求の印刷状態を表示します。

userオプションと同時に指定された場合、指定されたユーザの印刷要求をすべて表示します。

4.2.3 lpqコマンド注意事項

表4.4に示すオプションは使用できません。

表4.4 非サポートlpqコマンドオプション

オプション	機能
request-ID	指定された印刷要求のプリンタ状態の表示

4.3 lprmコマンド

lprmコマンドは、印刷要求を取り消します。

4.3.1 lprmコマンド指定形式

lprmコマンド指定形式は、下記のとおりです。

```
lprm [ -P destination ] [ - ] [ request-ID ... ]
```

4.3.2 lprmコマンドオプション

lprmコマンドで指定できる各種オプションを表4.5に示します。

表4.5 lprmコマンドオプション

オプション	機能
-P destination	印刷先プリンタ指定
-	全印刷要求指定
request-ID	印刷要求毎の削除

-P destination（印刷先プリンタ指定）

“destination”として、“プリンタ名”を指定します。

指定したプリンタの印刷要求を古いものから順に削除します。（削除権限のある印刷要求のみ）

補足：同一プリンタに印刷要求が複数あり、先頭の印刷要求が保留状態、2つめの印刷要求が印刷中のとき、プリンタ名を指定して取り消した場合、保留中の要求が取り消されます。

-（全印刷要求指定）

-Pオプションで指定されたプリンタの印刷要求をすべて削除します。

（-Pオプションを省略した場合、デフォルトプリンタのすべての印刷要求を削除します。）

本オプションは、スーパー・ユーザ権限を持つユーザのみ指定可能です。

request-ID（印刷要求毎の削除）

指定された印刷要求を削除します。（削除権限のある印刷要求のみ）

4.3.3 lprmコマンド注意事項

表4.6に示すオプションは使用できません。

表4.6 非サポートlprmコマンドオプション

オプション	機能
user	指定された印刷要求者の印刷要求の削除

第3部 当製品提供コマンド

第5章 資源管理コマンド

本章では、当製品の提供する資源管理コマンドの使用方法について説明します。
本章の構成は、以下のとおりです。

5.1 stupttf (TrueTypeフォントプレロード) コマンド

5.1 stupttf (TrueTypeフォントプレロード) コマンド

本節では、ページプリンタ用TrueTypeフォントをプレロードするstupptfコマンドの使用方を説明します。

stupptfコマンドは、以下のパスに格納されています。コマンドを起動する場合は、フルパス指定で起動するか、または、必要であればパス環境変数に格納パスを追加してください。

コマンド格納パス : /opt/FJSVbsnps/usr/lib/bsnps

5.1.1 stupttfコマンドの使用方

(1) コマンド形式

指定形式 1

```
stupptf -p printername [-m 明朝体外字ファイル名] [-g ゴシック体外字ファイル名]
[-v 登録範囲 (A/J)] [-e 動作モード (1/2/3/4/5)]
```

指定形式 2

```
stupptf [-h [option]]
```

(2) 機能説明

stupptfコマンドは、以下の機能を提供します。

- プリンタ装置に登録済のTrueTypeフォントを確認する。
- プリンタ装置にTrueTypeフォントを登録する。
- プリンタ装置に登録済のTrueTypeフォントを削除する。

(3) オプション

-h :

stupptfコマンドのオプションの説明を表示します。

stupptfコマンドをオプション指定せずに実行した場合も、-hオプションを指定したものとし、オプションの説明を表示します。

他のオプションと同時に指定した場合は、そのオプションの説明のみ表示します。

-p *printername* :

TrueTypeフォントデータの送信を行うプリンタ名を*printername*で指定します。

-hオプション指定時以外で*printername*を省略した場合には、エラーとなります。

-m 明朝体外字ファイル名 :

登録する明朝体外字ファイル名を指定します。(注)

-g ゴシック体外字ファイル名 :

登録するゴシック体外字ファイル名を指定します。(注)

(注) -m 明朝体外字ファイル名、-g ゴシック体外字ファイル名オプションを指定する場合には、以下の点に注意する必要があります。

- “/usr/local/lib/FJSVlp/ttf” 以外に格納された外字ファイルを登録する場合は、フルパス（英数字で255バイトまで）で指定してください。
なお、ファイル名（英数字で拡張子を含めて16バイトまで）には “.tte” “.ttf” “.TTE” “.TTF” いずれかの拡張子が付加されている必要があります。

-v 登録範囲(A/J) :

登録範囲を指定します。

A : UNICODE全範囲(E000H~F8FFH) (デフォルト)

J : JEF拡張文字コード域(F1F0H~F84FH)を除く範囲

- ‘A’ を指定した後、‘J’ を指定すると、JEF拡張文字コード域 (F1F0H~F84FH) は復元されます。

-e 動作モード(1/2/3/4/5) :

動作モードを指定します。

1 : 確認(デフォルト) (注)

2 : 確認登録(会話形式)

3 : 確認削除(会話形式) (注)

4 : 登録

5 : 削除 (注)

(注) 書体の指定 (-mまたは-gオプション) は無効です。

(4) コマンド入力例

コマンドの入力例を示します。

<確認>

```
# /opt/FJSVbsnps/usr/lib/bsnps/stupttf -p printername
```

プリンタ装置(*printername*)に以下のTrueTypeフォントが登録されています

```
明朝体フォント      = min-ttf1.TTE [A]
ゴシック体フォント   = gtc-ttf1.TTE [A]
```

<確認登録(会話形式)>

```
# /opt/FJSVbsnps/usr/lib/bsnps/stupttf -p printername -e 2 -m min-ttf1.TTE -g gtc-ttf1.TTE
```

プリンタ装置(*printername*)に以下のTrueTypeフォントが登録されています

```
明朝体フォント      = min-ttf1.TTE [A]
ゴシック体フォント   = gtc-ttf1.TTE [A]
```

登録しますか (y/n)? y

プリンタ装置(*printername*)に以下のTrueTypeフォントを登録しました

```
明朝体フォント      = min-ttf1.TTE [A]
ゴシック体フォント   = gtc-ttf1.TTE [A]
```

<確認削除(会話形式)>

```
# /opt/FJSVbsnps/usr/lib/bsnps/stupttf -p printername -e 3
```

プリンタ装置(*printername*)に以下のTrueTypeフォントが登録されています

```
明朝体フォント      = min-ttf1.TTE [A]
ゴシック体フォント   = gtc-ttf1.TTE [A]
```

削除しますか (y/n)? y

プリンタ装置(*printername*)のTrueTypeフォントを削除しました

<登録>

```
# /opt/FJSVbsnps/usr/lib/bsnps/stupttf -p printername -e 4 -m min-ttf2.TTE -g gtc-ttf2.TTE
```

プリンタ装置(*printername*)に以下のTrueTypeフォントを登録しました

```
明朝体フォント      = min-ttf2.TTE [A]
ゴシック体フォント   = gtc-ttf2.TTE [A]
```

<削除>

```
# /opt/FJSVbsnps/usr/lib/bsnps/stupttf -p printername -e 5
```

プリンタ装置(*printername*)のTrueTypeフォントを削除しました

(5) 注意事項

- 「6680-NMC設定」の論理プリンタが定義されているVSP4530B/VSP4540B/VSP4540Cにおいて、本コマンドを使用する場合、プリンタ装置を6680-NMC未接続モードで起動する必要があります。詳細は、「【機能編】 13.1 VSP4530B/VSP4540B/VSP4540C (プリンタ別注意事項)」を参照してください。

第6章 印刷操作コマンド

本章では、当製品の提供する印刷操作コマンドの使用方法について説明します。
本章の構成は、以下のとおりです。

- 6.1 lpadvan（用紙掛け替え／試し打ち応答／課金）コマンド
- 6.2 bsnpsrestart（リトライ待機解除）コマンド
- 6.3 read_nfpag（印刷完了ページ通知）コマンド
- 6.4 lpstatlxe（印刷状態表示）コマンド

6.1 lpadvan（用紙掛け替え／試し打ち応答／課金）コマンド

本節では、lpadvanコマンドの使用方法を説明します。

lpadvanコマンドは、以下のパスに格納されています。コマンドを起動する場合は、フルパス指定で起動するか、または必要であればパス環境変数に格納パスを追加してください。

コマンド格納パス：/opt/FJSPVprweb/usr/lib/prweb

6.1.1 lpadvanコマンドの使用方法

(1) コマンド形式

指定形式 1

lpadvan -p *printername* -r|-R|-c

指定形式 2

lpadvan -a [*type1*|*type2*]

(2) 機能説明

lpadvanコマンドは、以下の機能を提供します。

- 用紙掛け替えメッセージに対して、印刷再開方法を指定し、印刷を続行させることができます。
- 試し打ち印刷の終了メッセージに対して、印刷再開方法を指定し、印刷を続行させることができます。
- 課金情報を表示することができます。

(3) オプション

[指定形式 1]

用紙掛け替えメッセージ、および試し打ち印刷終了メッセージに対して印刷再開方法を指定し、印刷を続行させる場合に使用する形式です。

-p *printername* :

プリンタ名を指定します。

-r :

印刷を続行する場合に指定します。

-R :

試し打ち印刷を実行する場合に指定します。

インパクトプリンタへの印刷時に指定すると“-r”と同じく、印刷を続行します。

-c :

試し打ち印刷終了直後に指定した場合は、試し打ち印刷した印刷ページの次のページから印刷を続行します。

用紙掛け替えメッセージに対して指定すると“-r”と同じく、印刷を続行します。

[指定形式2]

課金情報を表示させる場合に使用する形式です。本形式は、スーパー・ユーザ権限で実行してください。

-a [type1|type2] :

課金情報を表示します。表示形式は2通りあり、“type1”、“type2”で指定します。

表示形式の指定は省略することもできます。省略された場合は“type1”が指定されたものとして課金情報を表示します。

表示内容など課金の詳細については、「【機能編】第10章 課金」を参照してください。

(4) コマンド入力例

コマンドの入力例を示します。

```
$ /opt/FJSVprweb/usr/lib/prweb/lpadvan -p printername -r
```

```
$ /opt/FJSVprweb/usr/lib/prweb/lpadvan -p printername -R
```

```
$ /opt/FJSVprweb/usr/lib/prweb/lpadvan -p printername -c
```

```
# /opt/FJSVprweb/usr/lib/prweb/lpadvan -a
```

```
# /opt/FJSVprweb/usr/lib/prweb/lpadvan -a type1
```

```
# /opt/FJSVprweb/usr/lib/prweb/lpadvan -a type2
```

6.2 bsnpsrestart（リトライ待機解除）コマンド

本節では、リトライ待機を解除するbsnpsrestartコマンドの使用方法を説明します。

bsnpsrestartコマンドは、以下のパスに格納されています。コマンドを起動する場合は、フルパス指定で起動するか、または必要であればパス環境変数に格納パスを追加してください。

`/opt/FJSVbsnps/usr/lib/bsnps`

6.2.1 bsnpsrestartコマンドの使用方法

(1) コマンド形式

`bsnpsrestart printername [-1]`

(2) 機能説明

本製品では、続行不可能なエラーを検出したり、プリンタ装置から接続拒否の通知を受けると、いったん印刷処理を中止し、一定時間待機した後、自動的にリトライを行います。

本コマンドを実行すると、即座にリトライを開始します。

なお、リトライの間隔（待機時間）は、環境ファイルの“RETRYINTERVAL1”および“RETRYINTERVAL2”の値で変更できます。環境ファイルの設定値については、「【導入編】付録B 環境ファイル」を参照してください。

(3) オプション

printername :

リトライ待機を解除するプリンタ名を指定します。

-1 :

自動リトライ待機状態を表示します。

(4) コマンド入力例

コマンドの入力例を示します。

<リトライ待機中（自動リトライ待ち）に実行した場合>

```
$ /opt/FJSVbsnps/usr/lib/bsnps/bsnpsrestart printername -l
printername is waiting for auto-restart      ← 自動リトライ待ちであることを示します。
$ /opt/FJSVbsnps/usr/lib/bsnps/bsnpsrestart printername
printer printername now enabled              ← 即座にリトライを開始します。
```

<リトライ待機中（自動リトライ抑止中）に実行した場合>

```
$ /opt/FJSVbsnps/usr/lib/bsnps/bsnpsrestart printername -l
printername is waiting for manual-restart    ← 自動リトライが抑止されており、ユーザによる
                                                リトライ(待機解除)待ちであることを示します。
$ /opt/FJSVbsnps/usr/lib/bsnps/bsnpsrestart printername
printer printername now enabled              ← 即座にリトライを開始します。
```

<リトライ待機中でない時に実行した場合>

<pre>\$ /opt/FJSVbsnps/usr/lib/bsnps/bsnpsrestart <i>printername</i> -l <i>printername</i> is not waiting for restart \$ /opt/FJSVbsnps/usr/lib/bsnps/bsnpsrestart <i>printername</i> (何も表示されません)</pre>	<p>← リトライ待ちの状態ではないことを示します。</p> <p>← 無効な操作です。</p>
---	--

6.3 read_nfpag (印刷完了ページ通知) コマンド

本節では、印刷完了ページを通知するread_nfpagコマンドの使用方を説明します。

read_nfpagコマンドは、以下のパスに格納されています。コマンドを起動する場合は、フルパス指定で起動するか、または必要であればパス環境変数に格納パスを追加してください。

`/opt/FJSVbsnps/usr/lib/bsnps`

6.3.1 read_nfpagコマンドの使用方

(1) コマンド形式

`read_nfpag request-ID`

(2) 機能説明

指定された印刷要求IDの次印刷ページを通知します。通知形式は、「部：ファイル：ページ」の形式です。本コマンドはエラー発生時、-y_nfpag指定によりリカバリを行う場合にのみ使用してください。

本コマンドは、プリンタをdisableコマンドで停止した状態で実施する必要があります。

(3) オプション

request-ID :

印刷要求IDを指定します。

(4) コマンド入力例

コマンドの入力例を示します。

```
$ /opt/FJSVbsnps/usr/lib/bsnps/read_nfpag request-ID
1:1:1
```

注意 lpオプションの-y_nfpagを指定して途中ページから印刷を行う場合、1ページも印刷されていない状態でread_nfpagを使用すると、1:1:1が通知される場合があります。

また、改ページオーダが付加されていないテキストデータをインパクトプリンタに印刷した場合、read_nfpagで通知された印刷完了ページ数にしたがって-y_nfpagの指定によりリカバリすると、何も印刷されずに印刷要求が消える場合があります。改ページオーダの付加については、「【機能編】4.3 改ページ」を参照してください。

6.4 lpstatlxe (印刷状態表示) コマンド

本節では、印刷状態を表示するlpstatlxeコマンドの使用方法を説明します。

lpstatlxeコマンドは、以下のパスに格納されています。コマンドを起動する場合は、フルパス指定で起動するか、または必要であればパス環境変数に格納パスを追加してください。

コマンド格納パス : /opt/FJSVbsnps/usr/lib/bsnps

6.4.1 lpstatlxeコマンドの使用方法

(1) コマンド形式

指定形式 1

lpstatlxe [-E] [-a [<i>prntername</i>]] [-c [<i>class(es)</i>]] [-d] [-h <i>server</i>] [-r] [-R] [-s] [-t] [-u [<i>user(s)</i>]] [-v [<i>prntername</i>]] [-W [<i>which-jobs</i>]]

指定形式 2

lpstatlxe -p [<i>prntername</i> [-l]]

指定形式 3

lpstatlxe -o [<i>request-ID</i>]

(2) 機能説明

lpstatlxeコマンドは、lpstatコマンドの機能を拡張したコマンドで、以下の機能を提供します。

- プリンタがエラーの場合、エラーの内容を表示できます。
- 印刷要求が保留状態か否かを表示できます。
- lpstatコマンドの機能をすべて使用できます。

(3) オプション

lpstatコマンドと同じオプションが使用できます。ここでは、lpstatコマンドのオプションから拡張したオプションについて説明します。

-E :

「3.1 lpstatコマンド」を参照してください。

-a [*prntername*] :

「3.1 lpstatコマンド」を参照してください。

-c [*class(es)*] :

「3.1 lpstatコマンド」を参照してください。

-d :

「3.1 lpstatコマンド」を参照してください。

-h *server* :

「3.1 lpstatコマンド」を参照してください。

-r :

「3.1 lpstatコマンド」を参照してください。

-R :

「3.1 lpstatコマンド」を参照してください。

- s :
「3.1 lpstatコマンド」を参照してください。
- t :
「3.1 lpstatコマンド」を参照してください。
- u [*user(s)*] :
「3.1 lpstatコマンド」を参照してください。
- v [*printername*] :
「3.1 lpstatコマンド」を参照してください。
- W [*which-jobs*] :
「3.1 lpstatコマンド」を参照してください。
- p [*printername*] :
指定したプリンタの状態を表示するとともにエラーメッセージも表示します。*printername*を省略した場合または*printername*に“all”を指定した場合、すべてのプリンタが対象となります。
- l :
“-p *printername*”とともに指定することにより、プリンタ定義に関する情報を表示します(「(4) コマンド入力例」を参照)。“*printername*”を省略した場合、本オプションは無視されます。
- o [*request-ID*] :
指定した印刷要求が保留状態か否かを表示します。保留状態以外の場合は“lpstat -o”と同じ情報を表示し、保留状態の場合は「job is held」を付加して表示します (「(4) コマンド入力例」を参照)。request-IDに“all”を指定した場合、すべての印刷要求の状態を表示します。“lpstat”コマンドについては、「3.1 lpstatコマンド」を参照してください。

(4) コマンド入力例

コマンドの入力例を示します。

・“-p” オプションの例

```
$ /opt/FJSVbsnps/usr/lib/bsnps/lpstatlxe -p vsp4730b
printer vsp4730b now printing vsp4730b-497.  enabled since Jan 01 00:00
エラー: 0220(FJSVbsnps) プリンタ装置との通信ができません [vsp4730b-497]
```

```
$ /opt/FJSVbsnps/usr/lib/bsnps/lpstatlxe -p all
printer vsp4530b is idle.  enabled since Jan 01 00:00
printer vsp4730b now printing vsp4730b-497.  enabled since Jan 01 00:00
エラー: 0220(FJSVbsnps) プリンタ装置との通信ができません [vsp4730b-497]
printer vsp4902 is idle.  enabled since Jan 01 00:00
```

```
$ /opt/FJSVbsnps/usr/lib/bsnps/lpstatlxe -p vsp4730b -l
printer vsp4730b now printing vsp4730b-497.  enabled since Jan 01 00:00
エラー: 0220(FJSVbsnps) プリンタ装置との通信ができません [vsp4730b-497]

Form mounted:
Content types: FMBPPOUT
Printer types: VSP4730B
Description: FMBPPOUT,hostname=vsp4730b,prtnumber=PRT1
Connection: direct
Interface: /opt/FJSVbsnps/usr/lib/bsnps/bsnpsstandard
```


・“-o” オプションの例

```
$ /opt/FJSVbsnps/usr/lib/bsnps/lpstatlxe -o vsp4730b-498
```

```
vsp4730b-498  root      1024   Fri Sep    5 15:44:53 2003   job is held
```

←保留状態
のジョブ

```
$ /opt/FJSVbsnps/usr/lib/bsnps/lpstatlxe -o all
```

```
vsp4730b-498  root      1024   Fri Sep    5 15:44:53 2003
```

```
vsp4530b-499  root      1024   Fri Sep    5 15:48:01 2003
```

```
vsp4730b-500  root      1024   Fri Sep    5 15:48:03 2003
```

6.4.2 lpstatlxeコマンド注意事項

現在印刷中の印刷要求の前に、保留された印刷要求が存在する場合、印刷中の印刷要求IDとして、保留中の印刷要求IDが表示されることがあります。

印刷中の印刷要求IDは、lpqコマンドによって確認できます。lpqコマンドについては「4.2 lpqコマンド」を参照してください。

プリンタ vsp4730b に印刷要求が3つ
(要求ID 1121, 1122, 1123) 存在

```
$ lpstat -o
vsp4730b-1121  root      1024   2005年05月10日 09時15分13秒
vsp4730b-1122  root      1024   2005年05月10日 09時15分17秒
vsp4730b-1123  root      1024   2005年05月10日 09時15分20秒
```

要求ID 1121のジョブが印刷中

```
$ lpstat -p vsp4730b
printer vsp4730b now printing vsp4730b-1121.  enabled since Jan 01 00:00
```

ここで印刷中の要求ID(vsp4730b-1121)を保留します。

```
$ /opt/FJSVbsnps/usr/lib/bsnps/lpstatlxe -p vsp4730b
printer vsp4730b now printing vsp4730b-1121.  enabled since Jan 01 00:00
エラー: 0230(FJSVbsnps) プリンタ装置がストップ状態です [vsp4730b-1122]
```

保留された要求ID 1121のジョブが印刷中として表示されている。実際には要求ID 1122が印刷中となっている。エラーメッセージ横には実際にエラーとなっている要求IDが表示される(エラーメッセージはエラー時のみ表示)。

```
$ lpq -P vsp4730b
vsp4730b is ready and printing
Rank  Owner  Job   File(s)                Total Size
1st   root   1121  hosts                  1024 bytes
active root   1122  hosts                  1024 bytes
2nd   root   1123  hosts                  1024 bytes
```

印刷中のジョブであることを示しています

付録A 『PrintWalker/BPC』 との比較

本付録では、『PrintWalker/BPC』の提供するlpオプションとの対応状況を記載します。

『PrintWalker/BPC』とは、Solaris OS上で動作するシステムプリンタ（PS5000シリーズおよびVSPシリーズ）に印刷を行うソフトウェアです。

- A.1 lpオプション比較
- A.2 lprオプション比較

（注） 『PrintWalker/BPC 6.6』（Solaris 8/Solaris 9/Solaris 10で使用时）と比較したものです。

A.1 lpオプション比較

『PrintWalker/BPC』でサポートするlpオプションと本製品でサポートするlpオプションの違いの概要について記載します。

A.1.1 FNPエミュレーション

FNPエミュレーションでのlpコマンドで指定できる各種オプションを表A.1～表A.3に示します。

付表A.1 lpコマンドオプション (FNP)

コマンドオプション	PrintWalker/BPC	PrintWalker/LXE
-E	×	×
-c	○	○
-d destination	○	○
-h server	×	×
-m	○	×
-w	○	×
-n num-copies	○	○
-q priority	○	○ 1～100を指定。100が最も高い優先度
-s	○	○
-S character-set	○	○ 指定方法：-o -S_character-set
-t title	○	○
-T content-type	○	○ 指定方法：-o -T_データタイプ
-H handling	○	○
-f フォーム名	×	×
-P page-list	○	○
-i job-id	○	○
-o option	○	○

○：サポート、×：未サポート

付表A.2 拡張(oモードリスト) (FNP)

コマンドオプション	PrintWalker/BPC	PrintWalker/LXE
-o nobanner	○	○ 指定方法：-o -o_nobanner
-o length=1～255	○	○ 指定方法：-o -o_length=1～255
-o lpi=行ピッチ	○	○ 指定方法：-o -o_lpi=行ピッチ
-o cpi=文字ピッチ	○	○ 指定方法：-o -o_cpi=文字ピッチ

○：サポート

付表A.3 拡張(yモードリスト) (FNP)

コマンドオプション	PrintWalker/BPC	PrintWalker/LXE
-y truetype	○	○ 指定方法: -o -y_truetype 指定しなくても、指定されたものとして動作します。本オプションを指定しても問題ありません。
-y rpage	○	× 代替方法: -o -y_nfpag=部番号:ファイル番号:頁番号
-y testprint	○	○ 指定方法: -o -y_testprint
-y pcode=	○	○ 指定方法: -o -y_pcode=用紙コード名
-y fn=	○	○ 指定方法: -o -y_fn=FCB名
-y fp=	○	○ 指定方法: -o -y_fp=FCB検索パス名
-y on=	○	○ 指定方法: -o -y_on=フォームオーバーレイ名
-y op=	○	○ 指定方法: -o -y_op=オーバーレイ検索パス名
-y opf=	○	○ 指定方法: -o -y_opf=オーバーレイ検索パス格納ファイル名
-y copies=	○	○ 指定方法: -o -y_copies=ページ複写数[:焼付け数]
-y eucJP	○	○ 指定方法: -o -y_eucJP
-y PCK	○	○ 指定方法: -o -y_PCK
-y UCS-2	○	○ 指定方法: -o -y_UCS-2
-y UTF-8	○	○ 指定方法: -o -y_UTF-8
-y UTF-16	○	○ 指定方法: -o -y_UTF-16
-y proportional	○	○ 指定方法: -o -y_proportional
-y gothic	○	○ 指定方法: -o -y_gothic
-y ankfont=	○	○ 指定方法: -o -y_ankfont=gothic courier swiss dutch symbol OCR-B
-y keisen	×	×
-y xsize=	○	○ 指定方法: -o -y_xsize=印刷原点位置X方向
-y ysize=	○	○ 指定方法: -o -y_ysize=印刷原点位置Y方向
-y dpi=	○	○ 指定方法: -o -y_dpi=240 400 600 1200
-y ppm	○	×
-y nfpag=	×	○ 指定方法: -o -y_nfpag=部番号:ファイル番号:頁番号
-y exmagnify=	○	○ 指定方法: -o -y_exmagnify=LPA4 LPB4 0.8
-y magnify=	○	○ 指定方法: -o -y_magnify=reduction 0.7
-y reduction	○	○ 指定方法: -o -y_reduction
-y bind=	○	○ 指定方法: -o -y_bind=left upper
-y side=	○	○ 指定方法: -o -y_side=front both
-y wide=	○	○ 指定方法: -o -y_wide=とじしろ幅
-y punch=	○	○ 指定方法: -o -y_punch=ON OFF
-y staple=	○	○ 指定方法: -o -y_staple=parallel bias 2place no
-y out=	○	○ 指定方法: -o -y_out=排紙先
-y in=	○	○ 指定方法: -o -y_in=main1 main2 main3 main4
-y portrait	○	○ 指定方法: -o -y_portrait
-y landscape	○	○ 指定方法: -o -y_landscape
-y size=	○	○ 指定方法: -o -y_size=a3 a4 a5 b4 b5 1t
-y banneropt=	×	○ 指定方法: -o -y_banneropt=給紙口:用紙サイズ:印刷方向
-y exlength=	○	○ 指定方法: -o -y_exlength=用紙長
-y offset=	○	○ 指定方法: -o -y_offset=y n

○: サポート、×: 未サポート

A.1.2 66XXエミュレーション

66XXエミュレーションでのlpコマンドで指定できる各種オプションを表A.4～表A.6に示します。

付表A.4 lpコマンドオプション (66XX)

コマンドオプション	PrintWalker/BPC	PrintWalker/LXE
-E	×	×
-c	○	○
-d destination	○	○
-h server	×	×
-m	○	×
-w	○	×
-n num-copies	○	○
-q priority	○	○ 1～100を指定。100が最も高い優先度
-s	○	○
-S character-set	○	×
-t title	○	○
-T content-type	○	○ 指定方法：-o -T_データタイプ
-H handling	○	○
-f フォーム名	×	×
-P page-list	○	○
-i job-id	○	○
-o option	○	○

○：サポート、×：未サポート

付表A.5 拡張(oモードリスト) (66XX)

コマンドオプション	PrintWalker/BPC	PrintWalker/LXE
-o nobanner	○	○ 指定方法：-o -o_nobanner
-o length=1～255	○	○ 指定方法：-o -o_length=1～255
-o lpi=行ピッチ	○	○ 指定方法：-o -o_lpi=行ピッチ
-o cpi=文字ピッチ	○	○ 指定方法：-o -o_cpi=文字ピッチ

○：サポート、×：未サポート

付表A.6 拡張(yモードリスト) (66XX)

コマンドオプション	PrintWalker/BPC	PrintWalker/LXE
-y truetype	×	×
-y rpage	○	× 代替方法: -o -y_nfpag=部番号:ファイル番号:頁番号
-y testprint	○	×
-y pcode=	×	×
-y fn=	○	○ 指定方法: -o -y_fn=FCB名
-y fp=	○	○ 指定方法: -o -y_fp=FCB検索パス名
-y on=	×	×
-y op=	○	×
-y opf=	×	×
-y copies=	×	×
-y eucJP	○	○ 指定方法: -o -y_eucJP
-y PCK	○	○ 指定方法: -o -y_PCK
-y UCS-2	×	×
-y UTF-8	×	×
-y UTF-16	×	×
-y proportional	×	×
-y gothic	×	×
-y ankfont=	×	×
-y keisen	×	×
-y xsize=	×	×
-y ysize=	×	×
-y dpi=	×	×
-y ppm	×	×
-y nfpag=	×	○ 指定方法: -o -y_nfpag=部番号:ファイル番号:頁番号
-y exmagnify=	×	×
-y magnify=	×	×
-y reduction	×	×
-y bind=	×	×
-y side=	×	×
-y wide=	×	×
-y punch=	×	×
-y staple=	×	×
-y out=	×	×
-y in=	×	×
-y portrait	×	×
-y landscape	×	×
-y size=	×	×
-y banneropt=	×	×
-y exlength=	×	×
-y offset=	×	×

○: サポート、×: 未サポート

A.2 lprオプション比較

『PrintWalker/BPC』でサポートするlprオプションと本製品でサポートするlprオプションの違いの概要について記載します。

A.2.1 FNPエミュレーション

FNPエミュレーションでのlprコマンドで指定できる各種オプションを表A. 7に示します。

付表A.7 lprコマンドオプション (FNP)

オプション	PrintWalker/BPC	PrintWalker/LXE
-P destination	○	○
-# number	○	○
-J job	○	○
-m	○	×
-h	○	×
-o option	×	○
file	○	○

○：サポート、×：未サポート

A.2.2 66XXエミュレーション

66XXエミュレーションでのlprコマンドで指定できる各種オプションを表A. 8に示します。

付表A.8 lprコマンドオプション (66XX)

オプション	PrintWalker/BPC	PrintWalker/LXE
-P destination	○	○
-# number	○	○
-J job	○	○
-m	○	×
-h	○	×
-o option	×	○
file	○	○

○：サポート、×：未サポート